



平成28年3月22日
中部地方整備局

港湾施設の効率的な点検技術を発掘します ～新技術情報提供システム(NETIS)テーマ設定型(技術公募) の技術選定結果～

1. 概 要

高度経済成長期などに集中的に整備され、今後急速に老朽化することが懸念されている港湾構造物の戦略的な維持管理・更新を行っていくために、効率的な施設点検を行うことが課題となっています。

中部地方整備局では新技術情報提供システム(NETIS)テーマ設定型により、「棧橋上部エコンクリート下面のひび割れ、浮き、剥離等を効率的に計測可能な技術」を募集し、応募のあった6件の技術から別添の4件を選定しましたのでお知らせします。

今後、選定された技術について試行調査及び事後評価を行います。

2. 添 付 資 料

別添： 棧橋上部エコンクリート下面のひび割れや浮き・剥離等を効率的に計測可能な技術
選定一覧表

参考： 新技術情報提供システム(NETIS)テーマ設定型(技術公募)に基づく新技術の発掘

3. 配 布 先

中部地方整備局記者クラブ、専門紙記者会、名古屋港記者クラブ、港湾新聞、
港湾空港タイムス、日本海事新聞、海事プレス

【 問い合わせ先 】

国土交通省 中部地方整備局 港湾空港部
海洋環境・技術課 課長:野口 課長補佐:大塚

Tel: 052-209-6329

Fax: 052-209-6308

(別添)

栈橋上部エコンクリート下面のひび割れや浮き・剥離等を効率的に計測可能な技術 選定一覧表

番号	技術名 (副題)	提出者 (共同開発者)
1	浅海底観測システム	朝日航洋(株) (国立研究開発法人国立環境研究所)
2	アクアジャスター搭載ROVによる水中構造物の健全性評価	(株)大林組
3	栈橋下面近接目視支援技術 (橋梁点検カメラシステム視る・診る)	ジビル調査設計(株) ((有)インテス)
4	非破壊試験(SIBIE法)によるコンクリート内部空洞およびひび割れ調査(FITSA)	(株)富士ピー・エス

新技術情報提供システム (NETIS) テーマ設定型 (技術公募) に基づく新技術の発掘

【現状】

我が国の社会資本ストックは、高度経済成長期などに集中的に整備され、今後急速に老朽化することが懸念されることから、社会資本を安全により長く利用できるよう、劣化や損傷の状況を確実に把握することで、戦略的な維持管理・更新を行うことが必要となっている。

【現状の課題】

栈橋上部コンクリート下面の点検は、船上からの目視または潜水士による目視で調査するが、その実施は波浪や潮汐等の海象状況や、船舶の係留や荷役作業等の施設の利用状況により点検時間の制限や作業員の熟練度による点検結果にバラツキが生じる可能性がある等の課題がある。

【公募技術】 栈橋上部コンクリート下面のひび割れや浮き・剥離等を効率的に計測可能な技術

【要求性能】 船上からの目視または潜水士による目視と新技術の組み合わせ、あるいは新技術のみによる点検結果が、船上からの目視または潜水士による目視の従来技術による点検結果と同等あるいはそれ以上であり、総合的に効率的または経済的優位性をもって達成できること。

公募の流れ

本公募は、評価を行う技術を選考し、現場での試行調査を行い、その技術に対して評価を行う。

